

## 第4回 地域づくり部会 会議概要

日 時	令和5年7月27日(木) 午後2時30分～午後3時30分
会 場	北地区コミュニティセンター 大ホール
出席委員	阿部委員、前田委員、恩田委員、佐久間委員、清水委員、 佐藤委員、川島委員、小熊委員、横山委員
欠席委員	菊地委員
事務局 関係課	阿部建設課長、本田北出張所長 地域総務課(中川補佐、伊藤主査、伊藤副主査、菊地係長、藤井主査、神田副主査)
会議要旨	<p><b>自治協提案事業 方向性確認シートをもとに事業の概要を決定</b></p> <p><b>【内容】</b> 令和6年度の自治協提案事業に有効な調査・研究内容を決めるために、方向性確認シートによる事業を決める話し合いを実施。 →①やりたい内容、②対象、③事業形式を決めることにより、おおまかな事業の方向性を決定する作業(※使用したシートは別紙参照) 各委員の意見(①×②×③の組み合わせ)を順番に発表。</p> <p><b>【意見の一例】(①やりたい内容、②対象、③事業形式)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・避難所運営×地域団体×マニュアル(動画)</li> <li>・防災知識×区民×ワークショップ</li> <li>・防災知識×区民×イベント</li> <li>・防災知識×区民×マニュアル 等</li> </ul> <p>→防災知識の区民向け啓発に関する提案が多いが、希望する事業形式が多岐に渡るため、まずは防災知識に関して調査・研究を行い、事業形式を決定していく。</p> <p><b>【次回の部会】</b> ハザードマップの見方について学ぶ</p>

地域づくり部会 自治協提案事業 方向性確認シート

(このシートの目的)

令和6年度ゴール(実施事業)を想定することで適切な調査・研究をする

①やりたい内容を定める ～防災の何をテーマにするか～

避難行動	避難所	防災知識
・タイムライン ・避難行動要支援者 など	・避難所運営  など	・ハザードマップ(地域の災害リスク) ・非常持出し品、家庭内備蓄 など

②対象を決める ～誰に向けて～

部会	地域団体	区民一般
・啓発物等を対外的に出すことが成果物 (不特定多数)	・自治会、コミ協 ・PTA ・福祉施設 など	・全体 ・高齢者(要支援者含む) ・子育て世代(未就学児及びその保護者) ・小中高、大学生

③事業形式を決める ～どうやって発信するか～

マニュアル作成	訓練・イベント	講習会・ワークショップ
・動画 ・パンフレット ・手引き など		

【ワークシート】

①やりたい内容

②対象

③事業形式

(参考) 地域づくり部会 調査研究 スケジュールイメージ

日程	内容
7月27日	調査・研究テーマ詳細決定
8月28日	
9月28日	講師から話を聞く ワークショップ
10月26日	※実施コンテンツを決めるために体験してみる 等
11月22日	次年度実施内容決定(話し合い)
12月21日	本会議で事業について意見聴取
1月25日	事業に向けて準備 (事業に向けて研修や実践も可では)
2月22日	
3月28日	

## 第 4 回 福祉教育部会 会議概要

日時	令和 5 年 7 月 27 日 (木) 午後 2 時 25 分～午後 3 時
会場	北地区コミュニティセンター 講座室 2
出席委員	清水部会長、遠藤副部会長、有田(一)委員、佐藤(茂)委員、佐藤(康)委員、三浦委員、日下委員、佐藤(哲)委員 8 人
欠席委員	此村委員、竹島委員
事務局	高山健康福祉課長、渡辺豊栄地区公民館長、上村教育支援センター所長、近藤地域総務課長補佐、宮澤係長(区民生活課)、深沢(地域総務課)
会議要旨	<p>(1) 第 9 期委員提案事業にかかる調査・研究のテーマについて          事前に送付した事務局案に対し意見を募集。特に意見は出なかったため  <b>地域活動の担い手不足(見守り・子育て支援・交通安全)</b>          と決定。          &lt;当日出た意見&gt;          ・地域の茶の間など参加しているのは女性が多い。男性に参加してもらうための工夫が必要。          ・児童期家庭教育学級などには若いパパが以前より多く参加してきている。          ・共通のもの(趣味)などがテーマだと参加しやすいのではないか。          ・ふれあいスクール事業で地域の人が学べるよう、板前から学ぶ料理講座を企画したら男性が参加してくれた。</p> <p>&lt;調査・研究活動&gt;          ・区役所だよりを活用し、昨年開催した講座の内容を掲載し反響を見る。          ・8月の部会で「地域の茶の間の現状」について三浦委員から話を聞く。          ・事務局から自治協議会だよりを利用してアンケートすることも可能なので聞きたい項目があれば教えてほしい。</p> <p>(2) 令和 6 年度区づくり予算事業について          竹島委員から出た案を部会で検討し、本日の全体会で福祉教育部会として提出した。</p> <p>(3) 継続事業について          新潟医療福祉大学と連携した健康・福祉講座の内容健闘意見          ・昨年は大学が会場だったが、交通手段がない人は来られなかった。          ・講座を録画してあとで見直せるようにしておくといい。          詳細は持ち帰り各自考えて来てもらう。</p>

## 第 5 回 福祉教育部会 会議概要

日時	令和 5 年 8 月 28 日 (月) 午後 1 時 30 分～午後 2 時 50 分
会場	北区役所 301 会議室
出席委員	清水部会長、遠藤副部会長、有田(一)委員、此村委員、佐藤(茂)委員、三浦委員、日下委員、佐藤(哲)委員 8 人
欠席委員	佐藤(康)委員、竹島委員
事務局	高山健康福祉課長、渡辺豊栄地区公民館長、上村教育支援センター所長、深沢 (地域総務課)
会議要旨	<p>(1) 自治協議会委員提案事業 調査・研究活動</p> <p>○研修「地域の茶の間」の活動状況について</p> <p style="padding-left: 2em;">三浦委員 (支え合いのしくみづくり会議)</p> <p style="padding-left: 2em;">今後の課題として、参加者が固定し広がらない。どうしたら集まってくれるのか一緒に考えてほしい。</p> <p>&lt;意見&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の茶の間交流会で説明された陽光自治会は代表の方が、いろいろ工夫をしている。出前講座や体操、茶話会も評判がいい。</li> <li>・男性の参加が少ない。</li> <li>・事業所として自治会活動に参加させてもらっている。町内会で久しぶりに行われた祭りには若い父親が多く参加していた。</li> </ul> <p>(2) 自治協議会だよりでのアンケート項目について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・先ほどの「男性の参加が少ない」を解決するために、「どんな形でなら参加しやすいか」を聞いてみる</li> </ul> <p>(3) 新潟医療福祉大学との連携講座企画案について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域コミュニティの高齢化に備え、連帯感をつなぎ続けるための事例発表会など</li> <li>・4 年度に行った講座「健康寿命を延ばそう」を参加者同士で交流できるような形で開催</li> <li>・4 年度に行った講座のような形で、運動メニューを短時間で出来るものにし、録画して後で見られるようにする。</li> <li>・認知症予防講座&amp;脳トレ いつまでも元気に暮らすための生活習慣とは</li> </ul> <p>会場…新潟医療福祉大学(設備が使える)、公民館、地域の茶の間など 事務局で整理し、みなさんと相談しながら具体的に詰めていく。</p>

## 第4回 自然文化部会 会議概要

日 時	令和5年7月27日（木曜） 午後2時30分～午後5時00分
会 場	北地区コミュニティセンター 講座室1
出席委員	伊藤委員、小日向委員、飛鳥井委員、小林委員、諏訪委員 寺山委員、石山委員、坪木委員
欠席委員	野口委員、有田委員
事務局 関係課	産業振興課（横木課長）、区民生活課（高野課長）、地域総務課（佐藤）
会 議 要 旨	<p><b>【アンケートについて】</b> 11月発行の区自治協議会だよりに、各部会からアンケート項目を考え、アンケート調査することになった。本部会では、前回から話し合っていた世代ごとの情報収集方法に関するアンケート項目を掲載してはどうか（事務局案）。事務局案以外で、掲載した項目があれば8月の部会までに提出する。</p> <p><b>【8月部会・9月の視察について】</b> 8月は、「福島潟を船で巡り、潟の食文化を調査する」を実施。 船に乗り福島潟を体感、船頭の方から福島潟の話聞き魅力の再確認を行う。また、産業振興課の新企画「潟料理の試食」を体験し、潟の食文化を学び意見交換を行う。 9月は、北区郷土博物館職員もしくはボランティアガイドから案内してもらい、北区の歴史を学び意見交換を行う。</p> <p><b>【視察 ひょうたん池、島見浜海水浴場、海辺の森】</b> <b>&lt;ひょうたん池&gt;</b> 建設課六井係長より説明。 アキグミの植栽について 平成27年度から国土交通省北陸地方整備局阿賀野川河川事務所よりアキグミ苗木の提供を受け松浜自治振興会が主体となり地元小学生、地域住民とで植栽を行っていた。新潟市としては、平成29年度から「自治協議会提案事業」として実施、平成30年度からは「特色ある区づくり予算事業」として実施。植栽のほか、飛砂防止ネットの設置に取り組んでいる。 <b>&lt;島見浜海水浴場・海辺の森&gt;</b> 産業振興課横木課長より、島見浜の海岸浸食、風力発電についての説明。 海辺の森指定管理者 NPO 法人森の会より海辺の森についての説明 そのほか、10年前に区自治協議会委員が植えた保安林の視察、カブトムシハウスの視察等行った。 視察を通して、委員の中には初めて訪れる場所などもあり（ひょうたん池など）、さらにそれぞれ詳しい説明を聞き、活発な意見交換を行った。</p>

## 第 5 回 自然文化部会 会議概要

日 時	令和 5 年 8 月 2 8 日（月曜） 午後 3 時 30 分～午後 6 時 10 分
会 場	水の公園福島潟 潟来亭
出席委員	伊藤委員、小日向委員、飛鳥井委員、有田委員、諏訪委員 寺山委員、坪木委員
欠席委員	野口委員、小林委員、石山委員
事務局 関係課	東理副区長、産業振興課（横木課長、吉岡補佐、小山係長）、区民生 活課（高野課長）、地域総務課（伊藤、佐藤）
会議要旨	<p><b>【視察 福島潟】</b></p> <p>福島潟新井郷川漁業協同組合から協力いただき、福島潟を船で巡り、普段とは違う視点から北区の魅力である福島潟を体感する視察を行った。</p> <p>船には漁協のガイドの方も同乗し、福島潟の解説をしていただいた。</p> <p>また、ヒシの実の試食や、オニバスの池で生態についての話などを聞いた。</p> <p>その後、潟の食文化を学ぶために、オニバスの実、雷魚、ザリガニなど潟でとれる食材を使った潟料理を試食した。漁協の方とともに、福島潟の現状、これからの取り組みなどについて意見交換を行った。</p> <p>今回の視察を通し、北区の魅力を体感した自分たちが、その魅力をどのように提案事業につなげ、発信していくかについて今後の部会の中で議論していく。</p> <p>次回 9 月 26 日（火）北区郷土博物館視察 28 日（木）第 6 回自然文化部会「これまでの視察の振り返り」</p>

